

平成21年6月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 きちり
 コード番号 3082 URL <http://www.kichiri.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平川 昌紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 葛原 昭
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 大

TEL 06-6244-5822

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第1四半期の業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第1四半期	1,216	—	45	—	43	—	22	—
20年6月期第1四半期	943	—	19	—	6	—	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第1四半期	2,813.48	—
20年6月期第1四半期	386.01	380.55

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第1四半期	2,520	920	36.5	112,875.45
20年6月期	2,417	897	37.1	110,061.98

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 920百万円 20年6月期 897百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年6月期	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	2,655	—	68	—	70	—	35	—	4,348.91
通期	5,428	30.9	130	37.7	132	5.0	66	2.9	8,101.82

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 8,152株 20年6月期 8,152株

② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 一株 20年6月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年6月期第1四半期 8,152株 20年6月期第1四半期 8,104株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年8月8日に公表いたしました業績予想は、変更してありません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の会計指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

なお、当第1四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的状況

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、米国サブプライムローン問題を背景とする日米の景気減速懸念や原油価格の高騰、株式・為替市場の変動等によって先行き不透明感が拭えず、食料品の価格上昇も原因となり、引き続き個人消費は低迷を続けている状況でありました。

外食産業におきましては、原材料の仕入価格高騰による消費者物価の上昇や消費者の「食」に対する不安感を募らせるような事件が多発し、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社は関西圏での更なるブランド力の向上と関東圏への進出により、当第1四半期会計期間において「Casual Dining KICHIRI」を大阪で1店舗、東京で1店舗出店し、事業規模の拡大を図ってまいりました。

その結果、第1四半期会計期間の売上高は1,216百万円、営業利益は45百万円、経常利益は43百万円、四半期純利益は22百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は2,520百万円となり、前事業年度末と比較して102百万円増加となりました。

このうち、流動資産合計は451百万円となり、前事業年度末と比較して31百万円減少しております。減少の主な要因は、新規店舗出店により、賃貸契約等による前払費用が14百万円増加しましたが、前事業年度末に計上しました未収入金の回収により未収入金が39百万円減少したことによるものであります。

固定資産の合計は2,069百万円となり、前事業年度末と比較して133百万円増加しております。増加の主な要因は、新規店舗出店により、建物が104百万円、差入保証金が33百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,599百万円となり、前事業年度末と比較して79百万円増加しております。

このうち、流動負債合計は756百万円となり、前事業年度末と比較して4百万円減少しております。減少の主な要因は、新規店舗出店の為の1年内返済予定の長期借入金が38百万円増加しましたが、未払金が36百万円減少し、未払法人税等が20百万円減少したことによるものであります。

固定負債合計は842百万円となり、前事業年度末と比較して83百万円増加しております。増加の要因は、新規店舗出店の為の長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は920百万円となり、前事業年度末と比較して23百万円増加しております。増加の主な要因は、四半期純利益22百万円の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが92百万円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが195百万円の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが122百万円の資金増となりました。その結果、当第1四半期会計期間末の資金残高は、288百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、92百万円のキャッシュ・フローの増加となりました。

これは主に、税引前当期純利益を43百万円計上したほか、店舗数が増加して減価償却費を52百万円計上したこと及び未収入金が39百万円減少した事によります。さらに法人税等の支払が35百万円あった事等も影響しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、195百万円のキャッシュ・フローの減少となりました。

これは主に、店舗の新規出店による有形固定資産取得のために183百万円の支出と保証金差入に33百万円を行ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、122百万円のキャッシュ・フローの増加となりました。

これは、新規店舗出店のための長期借入金200百万円を行い、長期借入金の返済による支出77百万円があったことによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年6月期の業績予想につきましては、平成20年8月8日付「平成20年6月期決算短信（非連結）」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	288,420	293,022
売掛金	37,378	37,668
原材料及び貯蔵品	31,657	30,108
その他	93,563	121,299
流動資産合計	451,019	482,099
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,449,696	1,345,350
その他(純額)	26,617	30,323
有形固定資産合計	1,476,314	1,375,674
無形固定資産	1,291	701
投資その他の資産		
差入保証金	555,939	522,008
その他	35,833	37,373
投資その他の資産合計	591,772	559,382
固定資産合計	2,069,378	1,935,758
資産合計	2,520,398	2,417,857
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,624	115,395
1年内返済予定の長期借入金	309,408	270,948
未払法人税等	20,926	41,174
その他	308,684	333,637
流動負債合計	756,643	761,155
固定負債		
長期借入金	842,985	759,172
固定負債合計	842,985	759,172
負債合計	1,599,628	1,520,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,171	360,171
資本剰余金	320,171	320,171
利益剰余金	239,817	216,882
株主資本合計	920,160	897,225
新株予約権	609	304
純資産合計	920,769	897,529
負債純資産合計	2,520,398	2,417,857

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	1,216,361
売上原価	344,710
売上総利益	871,651
販売費及び一般管理費	826,285
営業利益	45,365
営業外収益	
受取利息	109
協賛金収入	779
違約金収入	525
その他	397
営業外収益合計	1,811
営業外費用	
支払利息	3,232
その他	87
営業外費用合計	3,319
経常利益	43,857
税引前四半期純利益	43,857
法人税、住民税及び事業税	17,978
法人税等調整額	2,943
法人税等合計	20,922
四半期純利益	22,935

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	43,857
減価償却費	52,390
長期前払費用償却額	3,013
受取利息	△109
支払利息	3,232
売上債権の増減額 (△は増加)	289
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,548
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,228
未収入金の増減額 (△は増加)	39,013
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,300
未払金の増減額 (△は減少)	△5,521
未払費用の増減額 (△は減少)	833
その他の資産の増減額 (△は増加)	△14,070
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2,471
その他	304
小計	131,742
利息の受取額	109
利息の支払額	△3,371
法人税等の支払額	△35,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	24,036
有形固定資産の取得による支出	△183,601
無形固定資産の取得による支出	△600
長期前払費用の取得による支出	△1,478
差入保証金の差入による支出	△33,970
差入保証金の回収による収入	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△77,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	122,273
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,434
現金及び現金同等物の期首残高	268,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	288,420

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

なお、当第1四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年6月期第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	943,578
II 売上原価	286,691
売上総利益	656,886
III 販売費及び一般管理費	637,129
営業利益	19,757
IV 営業外収益	3,074
V 営業外費用	16,389
経常利益	6,442
VI 特別損失	357
税引前四半期純利益	6,085
法人税、住民税及び事業税	2,957
四半期純利益	3,128

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年6月期第1四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	6,085
減価償却費	31,908
長期前払費用償却	2,523
受取利息	△52
支払利息	2,284
株式交付費	1,271
有形固定資産除却損	357
売上債権の減少額 (△増加額)	3,100
たな卸資産の増加額	△1,684
仕入債務の増加額 (△減少額)	△5,688
未収入金の減少額 (△増加額)	△4,070
未払消費税等の増加額 (△減少額)	△16,190
未払金の増加額	13,054
未払費用の増加額	1,813
その他資産の増加額	△11,458
その他負債の減少額	△442
その他	△3,070
小計	19,741
利息の受取額	52
利息の支払額	△2,027
法人税等の支払額	△43,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,218

	前年同四半期 (平成20年6月期第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△38,408
長期前払費用の増加による支出	△10,520
保証金の差入れによる支出	△31,356
保証金の返還による収入	7,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,459
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△54,423
株式の発行による収入	153,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,798
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△2,879
V 現金及び現金同等物の期首残高	256,346
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	253,467